

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 12月 8日

事業所名 放課後等デイサービス はぐ

職員数7 回収数7 割合100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5		基準は満たしているが、広い部屋が1箇所、数人利用できる部屋が3箇所と別れており、それぞれ利用可能なように整備中。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		10人定員に対し、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員平均4.5人を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	3	玄関を上がるまでに低い段差が3段あるが、室内についてはバリアフリーになっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		ABA(応用行動分析学)を利用した話し合いを行い、プランやモニタリングに反映させた。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2	2	アンケート集計結果を基に会議を行い、保護者の意向を来年度の計画に反映させた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		3	4	令和3年4月頃に公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	3	検討中
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		内部研修会や外部研修への参加依頼を継続的に行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	5	1	保護者との懇談会を定期的に持ち、その中で話し合われた内容を計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	6		導入予定をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		年度末に次年度の年間活動予定を決め、月に一度の会議で毎月の活動予定の詳細を決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		利用者、季節、天候等を考慮しながら、プログラムを決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		長期休暇には平日には取り組めない課題やプログラムを立案している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		今後も継続する。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			今後も継続する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			今後も継続する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	2	1	半年毎に行っているが、必要に応じて行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		5		(未回答2)行っている。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	1	必要に応じて行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4		現在まで受け入れ事案は無いが、必要な際には対応する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	1	次年度入所の児童より、行う予定。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7		卒業生はまだいないが、必要な際には情報提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	1	基幹型相談支援センター主催の研修や助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	6	現在まで機会がないが、今後は機会を設ける予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5	1	参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2	1	連絡帳や送迎時を利用し情報交換すると共に、年2回の保護者会を開催している。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		7		検討中
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	4		契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3		必要に応じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	3	昨年から保護者懇親会を設けたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により中止した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2		苦情対応マニュアルを整備し、対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		毎月発行している。
	35	個人情報に十分注意している	7			注意を払っており、今後も法令を遵守していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		利用者や保護者の特性や状況に配慮し、子供には写真、絵カードで対応したり、保護者には電話やメール、手紙などで個別の対応をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	4	昨年度は夏祭りを開催し、地域住民を招待し交流を図ったが、今年度は新型コロナウイルスの影響のため開催中止とした。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	6	今年度は防犯対応訓練を行ったが、保護者にはマニュアルを周知していないため、迅速に対応したい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2	地震、津波、火事、大雪、不審者に対応する訓練を行い、避難訓練を年間計画に入れ行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	5	外部研修(虐待防止、権利擁護研修会)へ参加した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		6	1 利用者の安全確保の観点から、今後検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	現在食物アレルギーのある子どもの利用はないが、利用の場合は医師の指示書に基づく予定。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	1 ヒヤリハット記録を作成し、共有している。